

普天間基地オスプレイ配備計画に反対する抗議決議

去る6月6日に米国防総省は、海兵隊次期主力輸送機として垂直離着陸機MVオスプレイを来年10月に普天間飛行場に配備すると正式に発表しました。オスプレイが配備された場合、同飛行場周辺では訓練マニュアル習熟のための飛行が激化する可能性があることから、隣接する小学校や周辺住民からは騒音問題、環境問題等に対する不安や怒りと墜落への恐怖の声が上がっています。

世界一危険で欠陥だらけの普天間飛行場にオスプレイを配備することにより、既成事実を積み上げ、一方的に押しつけようとする日米両政府のやり方は、県民が強く望んでいる「一日も早い危険性の除去」に逆行するものであり、断じて許されるものではありません。

よって、本町議会は町民の生命、安全及び生活環境を守る立場から普天間飛行場へのMVオスプレイ配備計画の撤回を強く要求します。

提出者：宮城寛諄

あて先：内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、沖縄及び北方対策担当大.